



VOICE

読者のページ

2025年12月号(53巻12号)へ寄せられた
読者の皆様からのご意見・ご感想を紹介します。

特集

工程別に学ぶ！輸血過誤防止対策

- 時間外しか輸血業務にかかわりませんが、現行の輸血業務手順が輸血過誤を防ぐさまざまな理由に由来するとわかり、業務を深く知ることができました。全体的に非常にわかりやすかったです。 **TM (福井県)**
- ABO 不適合輸血時に実際にどのように対応すればよいか理解が不十分だったので、勉強になりました。また、ルールやマニュアルの遵守の大切さと、思い込みでの行動の怖さを学びました。 **やもり (山口県)**
- p.1162の図5「輸血チーム医療」は、病院全体のチーム医療が大変わかりやすくて参考になります。O型患者へのA型の輸血がもっとも危険であるとはじめて知り、認識を改めました。 **さんきち (山口県)**

技術講座

薄切ワンポイントテクニック —薄切が難しい組織のトラブルシューティング

- 日常業務で疑問に思ってもなかなか聞けないことを知る機会を得られて良かったです。技術書にも書かれていない実践的なノウハウが学びになりました。 **KM (東京都)**
- 基礎的な内容で、かつ詳細に記載があり、勉強になりました。特に、普段は何気なく認識して薄切している干涉光について、学生への授業にあたりいま一つうまく言語化できていなかった部分を説明していただき、助かりました。 **HO (京都府)**
- 今まで知らなかった薄切の技術が載っていて、今後実践してみたいです。 **寒い日の朝日は暖かい(岐阜県)**

基礎講座

甲状腺系のホルモンなどの 血液データの見方・考え方

- 甲状腺系ホルモン、特に FT_3 ・ FT_4 は測定原理や試薬の違いによる方法間差を生じやすく、検査値の解釈には測定方法や基準範囲を勘案する必要があります。数値だけで判断せず、測定方法や臨床症状もあわせて考える俯瞰的な視野が大切だと感じます。 **YT (岐阜県)**
- 甲状腺系の血液検査が増えており、勉強になりました。図2「甲状腺機能検査に対応した病態とおもな疾患」がわかりやすく、大変参考になります。 **HY (福岡県)**
- 甲状腺系ホルモンは基準範囲が年齢、性別、妊娠によって変化するという点で、それらの情報も確認しながら病態を考えようと思いました。 **MK (千葉県)**

話題—NEWS&TOPICS

大腸がん検診ガイドライン、 19年ぶりに改訂

- こういったガイドラインは、改訂情報を入手しても読み込む作業がつい後回しになりがちなので、解説いただき、大変勉強になりました。 **HY (福岡県)**
- カットオフ値の設定について調べているところだったため、興味深く読みました。 **SI (長崎県)**
- 19年間未改訂とは、健康診断が軽くみられているようで残念です。大腸がん検診の有用性は実証されており、健康診断にかかわる者として、さらなる啓発で認知度を上げる必要を感じました。 **蟹座の星 (東京都)**
- 消化器エコーに興味をもっています。大腸について知ることができて良かったです。 **JS (神奈川県)**

ご意見・ご感想は巻末の「ホットラインカード」、またはWebアンケートにてお寄せ下さい。ご投稿をお待ちしています！

